講義名	卒業研究				
講義コード	14410	授業形態		開講期・曜日・時限	通年 月曜日 ４時限
担当教員	綿貫　真也			ナンバリング・コード	

学部・学科	演習分野
各学部の全学科	次世代マーケティング・リサーチ（消費者神経科学）

概要説明

本ゼミでは、マーケティング戦略課題に対して（顧客価値の創造など）、以下の次世代マーケティング・リサーチの手法を積極的に活用していきます。特に，本ゼミでは，消費者神経科学（コンシューマニューロサイエンス）・神経経済学（ニューロエコノミクス）の研究アプローチの基礎を学びます．

１）脳神経科学の生理学的基礎
２）脳神経科学と心理現象
３）脳神経科学のマーケティングへの応用（ニューロマーケティング）
４）脳神経科学と心理に関する分析手法

主な卒業論文のタイトル

・不人気ビジネスであるパチンコ産業再生の戦略～既存ユーザーの活用による売り上げの向上
・ブランドラブ（ブランド愛）の神経基盤について
・ブランド愛関係ダイナミクスの神経メカニズム

教員よりの要望

・医学・生理学的知識などは，ゼミ内で講義するので，その都度学んでいきましょう．
・教員が学修内容を事前に準備しなければ，何もできないような依存心の強い学生は，本ゼミには向いていません．
・神経画像を解析する際に，プログラムを必要とする場合があるので，プログラムに苦手意識がある人は本ゼミに参加することはやめた方が良いです．
・英語の論文を読んでもらうことに加えて，ゼミで使用する神経画像解析のアプリケーションはすべて英語表示なので，英語に苦手意識がある人は，本ゼミに参加することはやめた方が良いです．
・数学的な知識，医学・生理学的基礎知識などは必要としませんが，科学的な思考に抵抗がある人は，本ゼミには向いていません．
・発展的な学修・研究のために，個人で使用できるPC（家庭に１台あるということではなく，自分だけが自由に使用できるという意味）を所有していることが望ましいです．大学のPCではできないことがあります．

選考方法

自己紹介書類の提出は必須／面接をする場合がある

評価方法

ゼミ参加度、課題への取り組み姿勢など
講義形式の変更があった場合でも成績評価方法は変更しない
卒業論文

教員英字氏名	研究室
SHINYA WATANUKI	研究棟Ⅰ　203

最終学歴

慶應義塾大学文学部卒業／横浜国立大学大学院環境情報学府　博士課程後期修了

学位

博士（工学）

主な研究活動・社会活動・研究業績

https://researchmap.jp/swatanuki

趣味・特技

グラフィックデザイン・茶道・コーヒーの焙煎

所属

商学部

所属学会

日本マーケティング学会，日本消費者行動研究学会，日本感性工学会，コンピュータ利用教育学会

専門分野

ブランド戦略論，マーケティングリサーチ，消費者行動論，消費者神経科学，機械学習・知能情報学（人工神経回路網モデル・進化計算論）

担当科目

消費者行動論、消費者行動特論（大学院），マーケティング・データ分析，マーケティング・リサーチ，マーケティングサイエンス１，流通概論，流通科学入門，研究演習１・２，教養特講１，プロデュース論

備考

実務経験の有無及び活用

「実務経験あり」。実際に、社会・企業で要請される能力を軸として、企業人を要請するための指導をしていきます。そのために、本ゼミでは、学生を子供ではなく、企業社会における１社会人として扱います。